

して、国の交付金事業である雨水公共下水道事業を活用して、一日も早い排水機の設置に努めます。

消防本部について、複雑多様化する災害への対応をふまえ、消防署耐震補強工事および施設改修工事により防災拠点としての機能強化を図るとともに、車両・資機材等の計画的な整備に努めます。また、消防団を中核とした地域防災力の向上のため、小型動力ポンプを更新するほか、実践的な教育訓練や装備品の充実を支援し、迅速な活動ができるよう取り組みます。



危機管理について学ぶ防災訓練

**重要施策**  
**4**  
**地域経営の推進**

**◆自治体経営**

地域経済は、都市部での回復傾向が地方にも少しずつ波及しつつありますが、依然として厳しい状況が続き、税収についても、この影響があると推測されることから減少となっております。このような状況のなか、さらなる納付環境の整備と確実な税財源の確保のため、新たにクレジット収納導入に向けた整備も行います。

今後も町税の納期内納付の定着を図るとともに税の公平性を確保するため、適正な課税はもとより、自主納付の促進や滞納処分の実施により、自主財源の確保と収納率の向上に努めます。

**◆ふるさと納税**

返礼品などの拡充を推進することにより、町の魅力発信ツールとして更なる充実を図ることで、全国から応援していただける魅力ある寄附金制度とします。

**◆ネーミングライツ**

施設などの愛称の命名権を民間企業等に付与するネーミングライツ事業の推進により、民間資金を活用した持続可能な施設運営に努めます。



「スポーツプラザ養老」が「スポーツマックス・養老」となりました

**◆地域自治町民会議**

現在、3地区で設立・運営されている地域自治町民会議の活動基盤がさらに強化されるよう支援するほか、新たな地区が統

いて設立できるように強力に支援します。



グループワークで地域の魅力と課題を話し合う地域自治町民会議

**新副町長に 柏渕 裕昭 氏就任**



3月町議会定例会で、新副町長に柏渕裕昭氏(62)が選任同意され、就任しました。  
任期は、平成34年3月31日迄の4年間です。

**【略 歴】**

昭和55年町役場に奉職。以後、企画政策課主幹、税務課長、産業建設部長などの職を歴任。平成28年4月から調整監を務めていました。  
養老町宇田在住

**主な事業と予算**

★は新規事業

★ネクスト100プロジェクト事業	3,100万円
○協働のまちづくり推進事業	1,120万円
○ふるさと納税推進事業	7,136万円
★(仮称)養老町まちづくりビジョン策定事業	114万円
○賦課徴収事務費(クレジット収納プログラム改修費)	256万円
★ネーミングライツ事業(歳入)	108万円